

和歌山県農水産物・加工食品の販売促進戦略
アクションプログラム2022について

本年度、県産品の国内外への販路開拓に取り組む「和歌山県農水産物・加工食品の販売促進戦略アクションプログラム2022」を策定しましたので、お知らせします。

取組方針

1. デジタルとリアルによる多様な販路の拡大と商談機会の創出
2. 生産者や事業者の商品力・販売力の向上支援
3. ターゲット国・地域の現地拠点との連携等による輸出の促進
4. SNSやマスメディアを活用した効果的な魅力の発信

2022 主な施策

下線部は **注目!**

I. デジタル社会に対応した販売促進、事業者支援

ポストコロナ時代での
マーケティング

■ デジタルを活用した販路開拓、販売促進

- ・「おいしく食べて和歌山モール」(消費者向け)
- ・「おいしく食べて和歌山モール-FOR BUSINESS-」(バイヤー向け)

■ 伸長する通販市場での販路開拓

- ・大手通販カタログ、ECサイトへの掲載や百貨店オンラインストアへの出店
- ・通販テレビ番組の活用

■ デジタル社会に対応した生産者・事業者支援

- ・eコマース導入に向けた専門家派遣や産直EC等と連携したセミナーの開催
- ・Web用販売促進ツール等の作成補助
- ・販売スキル向上セミナー等の開催

II. 海外市場の販路開拓強化

多様な
商談機会
の提供

■ 海外展示商談会への出展

- ・中国国際輸入博覧会(上海)

■ 国内での商談機会の提供

- ・国内輸出商社との商談会
- ・海外バイヤーとのWeb商談会
- ・ライブコマースを活用した販売促進
- ・JETRO「JAPAN STREET」・「JAPAN MALL」事業の活用
- ・Web用商談ツールの充実(英語・中国語)

■ 海外における和歌山プロモーション

- ・GI和歌山梅酒プロモーション推進(フランス)
- ・ベトナムプロモーションの実施
- ・PPIHとの和歌山フェアの拡大(香港等)
- ・JETRO現地事務所等による「E-ソウ」

■ 輸出拡大に向けた環境整備

- ・グローバル産地づくりの推進
- ・輸出向けHACCP等対応施設整備
- ・食品輸出セミナー(JETRO、関西広域連合)

戦略的
マーケ
ティング

■ 輸出拡大に向けた魅力の発信

- ・GI和歌山梅酒アンバサダーの活用
- ・県産果実PRサイト(中国語)や梅酒マッピング図(英・中・仏)等の活用
- ・高級日本食レストランでのフェア開催
- ・4大果実(梅・桃・柿・みかん)PR動画(中国語・英語版)の活用

魅力の
発信

III. 国内市場の販売促進強化

■ 大型展示商談会への出展

- ・FOODEX JAPAN
- ・スーパーマーケット・トレードショー
- ・健康博覧会

■ 食品卸・商社等主催商談会への出展

- ・三井食品、国分等大手卸商談会

■ 県主催産品商談会の開催

- ・県産品マッチング商談会
- ・わかやま産品商談会in大阪・和歌山

■ 個別商談会、Web商談、商談代行の活用

■ 県産品ブランディングセールス

- ・おいしく食べて美しくなるプロジェクト
- ・有名シェフイベントの実施
- ・大阪外食産業協会と連携した食材提案
- ・老舗果物専門店等とのコラボ
- ・県産食材の機能性、テロワール

■ 有名百貨店等での販売促進

■ わかやま紀州館を活用した販路開拓

■ プレミア和歌山のストーリー展開

■ おいしい!健康わかやまの推進

- ・ｲﾝｽﾀｸﾞﾗﾑ等を活用した県産品の魅力発信

■ 大手食品企業とのタイアップ

■ 県産酒類の魅力発信

- ・マッピング図(梅酒・日本酒)の活用

■ 大阪・関西万博を見据えた魅力発信

- ・ご当地グルメサイト「わかやま食ツアー」

アクションプログラム2022

和歌山県農水産物・加工食品の 販売促進戦略



おいしい! 健康わかやま



和歌山県農林水産部 食品流通課



和歌山県農水産物・加工食品の販売促進戦略

◆ アクションプログラム2022 取組方針

1. デジタルとリアルによる多様な販路の拡大と商談機会の創出
2. 生産者や事業者の商品力・販売力の向上支援
3. ターゲット国・地域の現地拠点との連携等による輸出の促進
4. SNSやマスメディアを活用した効果的な魅力の発信

アクションプログラム2022 目次

I. デジタル社会に対応した販売促進、事業者支援

1. デジタルを活用した販路開拓、販売促進 P 2
2. 伸長する通販市場での販路開拓 P 3
3. デジタル社会に対応した生産者・事業者支援 P 4

II. 海外市場の販路開拓強化

- Attention! 1. 海外見本市出展等による商談機会の充実 P 6
- Attention! 2. 海外における和歌山プロモーション P 8
3. 輸出拡大に向けた環境整備 P 10
4. 輸出拡大に向けた魅力の発信 P 12

III. 国内市場の販売促進強化

- Attention! 1. 大型展示商談会への出展 P 14
- Attention! 2. 食品卸・商社等主催商談会への出展 P 15
3. 県主催産品商談会の開催 P 16
- Attention! 4. 個別商談機会の提供、Web商談や商談代行の活用 P 17
- Attention! 5. 県産品ブランディングセールス P 18
6. 有名百貨店等での販売促進 P 20
7. わかやま紀州館を活用した販路開拓 P 21
8. プレミア和歌山のストーリー展開 P 22
9. 「おいしい！健康わかやま」の推進 P 23
10. 大手食品企業とのタイアップによる商品開発 P 24
- Attention! 11. 県産酒類の魅力発信 P 25
12. 大阪・関西万博開催を見据えたご当地グルメの魅力発信 P 26
13. 食品関係産業の振興 P 27

I. デジタル社会に対応した販売促進、事業者支援

ポストコロナ時代での
マーケティング

- デジタルを活用した販路開拓、販売促進
 - ・「おいしく食べて和歌山モール」（消費者向け）
 - ・「おいしく食べて和歌山モール-FOR BUSINESS-」（バイヤー向け）
- 伸長する通販市場での販路開拓
 - ・大手通販カタログ、ECサイトへの掲載や百貨店オンラインストアへの出店
 - ・通販テレビ番組の活用
- デジタル社会に対応した生産者・事業者支援
 - ・eコマース導入に向けた専門家派遣や産直EC等と連携したセミナーの開催
 - ・Web用販売促進ツール等の作成補助
 - ・販売スキル向上セミナー等の開催

II. 海外市場の販路開拓強化

多様な
商談機会
の提供

- 海外展示商談会への出展
 - ・中国国際輸入博覧会（上海）
- 国内での商談機会の提供
 - ・国内輸出商社との商談会
 - ・海外バイヤーとのWeb商談会
 - ・ライブコマースを活用した販売促進
 - ・JETRO「JAPAN STREET」・「JAPAN MALL」事業の活用
 - ・Web用商談ツールの充実（英語・中国語）

戦略的
マーケ
ティング

- 海外における和歌山プロモーション
 - ・GI和歌山梅酒プロモーション推進（ワソ）
 - ・ベトナムプロモーションの実施
 - ・PIIHとの和歌山フェアの拡大（香港等）
 - ・JETRO現地事務所等によるプロモーション
- 輸出拡大に向けた環境整備
 - ・グローバル産地づくりの推進
 - ・輸出向けHACCP等対応施設整備
 - ・食品輸出セミナー（JETRO、関西広域連合）

魅力の
発信

- 輸出拡大に向けた魅力の発信
 - ・GI和歌山梅酒アンバサダーの活用
 - ・県産果実PRサイト（中国語）や梅酒マッピング図（英・中・仏）等の活用
 - ・高級日本食レストランでのフェア開催
 - ・4大果実（梅・桃・柿・みかん）PR動画（中国語・英語版）の活用

III. 国内市場の販売促進強化

- 大型展示商談会への出展
 - ・FOODEX JAPAN
 - ・スーパーマーケット・トレードショー
 - ・健康博覧会
- 食品卸・商社等主催商談会への出展
 - ・三井食品、国分等大手卸商談会
- 県主催産品商談会の開催
 - ・県産品マッチング商談会
 - ・わかやま産品商談会in大阪・和歌山
- 個別商談会、Web、商談代行の活用

- 県産品ブランディングセールス
 - ・おいしく食べて美しくなるプロジェクト
 - ・有名シェフイベントの実施
 - ・大阪外食産業協会と連携した食材提案
 - ・老舗果物専門店等とのコラボ
 - ・県産食材の機能性、テロワール
- 有名百貨店等での販売促進
- わかやま紀州館を活用した販路開拓
- プレミア和歌山のストーリー展開

- おいしい！健康わかやまの推進
 - ・ｲｽﾀｸﾞﾗﾑ等を活用した県産品の魅力発信
- 大手食品企業とのタイアップ
- 県産酒類の魅力発信
 - ・マッピング図（梅酒・日本酒）の活用
- 大阪・関西万博を見据えた魅力発信
 - ・ご当地グルメ対決「わかやま食ツリム」

I. デジタル社会に対応した販売促進、事業者支援

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、人々のコミュニケーションや消費行動などに大きな変化をもたらしました。消費者が実店舗に出向き、商品を購入するスタイルが一般的でありましたが、「対面、接触」を避けるため、ネットで購入する、いわゆるeコマースが大きく進展する流れとなり、企業間の商談等、いわゆるBtoB取引においても、Web上で行われる動きが加速化しています。ポストコロナ時代に向け、和歌山県産品の販売促進にあたっては、デジタルを活用した販売促進や事業者支援を推進する必要があります。

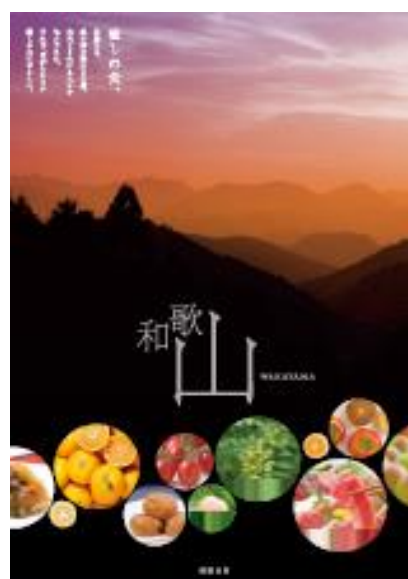
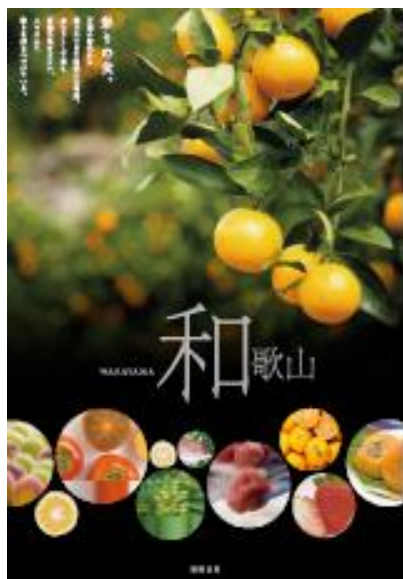
和歌山県は恵まれた自然環境や温暖な気候を活かした農水産業が盛んであり、和食の基本となる「醤油」や「味噌」、「鰹節」の原点でもあるなど、先人達が築き上げた技術を活かした世界に誇れる県産品が豊富にあります。

これら魅力ある県産品を、デジタルを活用し販路開拓及び販売促進していくため、昨年度開設した和歌山の食の総合ポータルサイト「おいしく食べて和歌山モール」の機能を存分に発揮し、より多くの消費者やバイヤーと県内事業者を結ぶ機会を創出します。 【デジタルを活用した販路開拓、販売促進】

また、市場の拡大が著しいeコマース、カタログ販売（デジタルカタログ含む）、テレビ番組等の通販分野における販路開拓を進め、県産品の認知度・売上アップを図ります。 【伸長する通販市場での販路開拓】

加えて、事業者がデジタルを活用し、商品の魅力を十分に伝え販売することができるよう、ニーズに応じたセミナーを準備するほか、インターネット販売を促すため、HP作成等販売環境の整備や動画コンテンツ制作等を引き続き支援し、生産・食品製造事業者のeコマース導入を支援します。

【デジタル社会に対応した生産者・事業者支援】



Attention!

1. デジタルを活用した販路開拓、販売促進

和歌山の食の総合ポータルサイト「おいしく食べて和歌山モール」を核に、より多くの消費者やバイヤーと県内事業者を結ぶ機会を創出します。

(主な取組)

注目! ○「おいしく食べて和歌山モール」(消費者向け)

生産現場の魅力情報を発信するとともに、県内事業者のあらゆる商品がすぐに購入できるポータルサイトを開設し、県内事業者のeコマースによる販促を支援

集約

楽R天
amazon
YAHOO! JAPAN ショッピング
POCKETMARCHÉ
自社サイト

和歌山の“おいしい”を探すならココ!

自然豊かな和歌山県は、全国に誇る「食の宝庫」!
ここでは、和歌山の県産品をすぐに見つけることができます!
※ 購入ボタンを押すと、商品販売ページに移動します。

キーワード 事業者 地域 カテゴリ

和歌山県産のたべものを、見つけて買える!

「和歌山の食」PR動画

四季折々、地域ごとに異なる表情をみせる「和歌山の食」PR動画をぜひご覧ください。

特集ページも盛りだくさん!

県産品のブランドストーリーや、季節のおくりもの、ダイエット&ビューティー企画など…。旬の情報や、様々なテーマに沿った特集ページを毎月更新していきます。

毎月特集ページを更新中!>>

● <https://oishii-wakayama.com/>

「おいしく食べて和歌山モール」で検索!

誘客

デジタルマーケティング戦略による誘客 (SEO、SMO、LPO対策)

- ・ 季節に合わせた商品特集ページや、様々な食にまつわるコンテンツの充実
- ・ GoogleやInstagram等SNSへの広告掲載による誘客

モール上での季節や催事に合わせた特集ページ

Instagramへのストーリー広告

注目! ○「おいしく食べて和歌山モール-FOR BUSINESS-」(バイヤー向け) 県産品・中間加工品の事業者とバイヤーを「結ぶ」オンライン商談システムを構築

バイヤー

食品商社
食品卸
百貨店
スーパーマーケット
コンビニストア
通信販売業
外食産業
中食産業
ホテル旅館業
食品加工業

登録

オンライン商談ルームで即商談!

事業者、バイヤー双方が「売りたい」「買いたい」等の情報を登録できます。気になるオンライン商談ルームがあった場合、商談希望を出すことができ、即座にチャット機能で商談が開始できます。

● 県内事業者
● バイヤー

独自製法で作っています
新しい商品をさがしています
珍しい商品を募集中です

商談開始

検索が便利に!

様々なカテゴリの商品を同時に検索することができます。商談に役立つ詳細な商品情報を掲載!

お気に入り登録で、後からでもすぐに情報にアクセス!

気になった商品を「お気に入り登録」することができます。お気に入り登録した商品はいつでもマイページから確認できます。また、商品情報が更新された場合はお知らせが通知されます。

● <https://oishii-wakayama.com/>

「おいしく食べて和歌山モール」で検索!

'21実績

- モール 閲覧数 : 153,174 (月間約18千PV、アラフィフ世代の女性がメイン層)
- 消費者向け : 登録事業者数 100社、登録商品数 566商品
- バイヤー向け : 登録事業者数 129社、登録商品数 630商品、登録バイヤー数 137名

2. 伸長する通販市場での販路開拓

近年拡大が続く「EC」、「カタログ」、「テレビ番組」等の通販市場における販路開拓を行い、県産品の認知度、売上アップを図ります。

(主な取組)

注目! 〇大手通販カタログ、ECサイトへの掲載

- ・大手通販カタログやECサイト、コロナ禍においてリアル物産展の開催が制限される百貨店のWEB物産展の積極的活用



郵便局カタログ「食で旅するおいしい和歌山」(近畿)



フェリシモカタログ「2022フェリシモパートナーズ産地直送マルシェ」

タカシマヤオンライン「愛知・三重・和歌山展」

注目! 〇通販番組の活用

- ・シニア層にもアプローチしやすい媒体である通販テレビ番組の活用



通販テレビ番組「虎ノ門市場」



'21実績

- 〇郵便局カタログ「食で旅するおいしい和歌山」(近畿)
紙面掲載：36事業者/52商品 ECサイト掲載：54事業者/188商品
- 〇フェリシモカタログ「2022フェリシモパートナーズ産地直送マルシェ」
20事業者/24商品
- 〇タカシマヤオンライン「和歌山・三重・愛知の物産展」
2022.3.23～ 14事業者/43商品
- 〇テレビ東京系列通販テレビ番組及び通販サイト「虎ノ門市場」
放送日：2021.10.19(紀ノ川柿)、2021.12.21(本鮪トロ・赤身セット他)
2021.12.27(熊野牛他)
ECサイト掲載：39事業者/67商品

3. デジタル社会に対応した生産者・事業者支援

デジタル社会に対応した販売力の向上と魅力ある商品づくりを目指し、eコマースの導入や販売スキル向上に向けたセミナーを開催するとともに、Webページ作成に係る支援、商品開発、HACCP高度化に向けた専門家を派遣します。

(国内の主な取組)

注目! ○eコマース導入に向けた支援 (募集: 5月~)

インターネット販売を始めたい、インターネット販売での売上を伸ばしたい事業者に対して、ECサイトの作成や運営に係る専門家派遣及び産直EC等と連携したeコマースに関するセミナー開催



注目! ○Web用販売促進ツール等作成への補助 (募集: 4月~)

農林漁業者等を対象に①Webページ作成及びリニューアル
②商品PR動画、③商品写真撮影、④外国語翻訳業務、
⑤SNSツール 活用などの取組を支援
【上限額】: 50万円 【補助率】: 1/2



注目! ○販売スキル向上セミナーの開催 (募集: 6月~7月、実施: 8月、12月)

長年流通や商談に携わったベテランバイヤーによる「販路拡大を図るテクニック」向上や「オンライン商談」に向けたセミナーを開催

○売れる商品の開発・改良等に向けた専門家派遣 (募集: 5~6月、実施: 8月~)

- ・アドバイザー (新商品開発、流通・販売促進、デザイン等の専門家) の派遣
- ・工業技術センター「フードプロセッシングラボ」を活用した新商品づくりを支援
- ・食品流通課内に「新商品開発相談窓口」を設置し、関係機関の協力のもと事業者をサポート



フードプロセッシングラボ

○HACCP高度化推進講習の開催 (募集: 5月下~7月上、実施: 7月~2月)

- ・国内外への販路開拓を考えている意欲的な事業者を対象に、義務化されている「HACCPに基づく衛生管理」について、より高度化・効率化するための実践研修等の開催
- ・HACCPコーディネーターによる現地指導



コーディネーターによる現地指導

'21実績

- ポケットマルシェ販売実績: 1億3千万円、登録生産者数: 223件 (2022.3末)
- Web用販売促進ツール等作成への補助 : 41事業者 (実績14,520千円)
- eコマース導入に向けた支援 : セミナー開催 (年4回計50名参加)、専門家派遣9社
- 新食品流通基準対応セミナー (オンライン) : 23事業者参加 (全6回延べ22日間)
現地指導 (各事業者2回)
- 販路拡大に向けた個別指導 : アドバイザー派遣 7事業者
- 販売スキルアップオンラインセミナー : 18事業者参加

Ⅱ. 海外市場の販路開拓強化

我が国の食市場は、人口減少を起因とした縮小傾向にある一方で、海外においては、新興国の経済成長や人口増加に伴い、市場規模は2015年の890兆円から2030年には1,360兆円の1.5倍に拡大すると見込まれています。

政府では、「食料・農業・農村基本計画」において、農林水産物・食品の輸出額の目標を2025年に2兆円、2030年に5兆円と設定し、「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略」を決定。日本の強みを最大限に活かす品目別の具体的目標の設定、マーケットインの発想で輸出にチャレンジする事業者の後押し、政府一体となった輸出の障害克服が掲げられている中、昨年は、本県が要望する「かき・かき加工品」が新たに輸出重点品目に追加されました。

本県においても、農水産業者の所得向上を図り、農水産業及び食品産業の持続的発展に向け、本県が優位性を有する品目についてターゲット国・地域を定め、戦略的に輸出拡大に取り組んでいるところであり、直近3年間で約2倍に輸出額が増加しています。（和歌山県農水産物・加工食品輸出促進協議会調べ）

新型コロナウイルスで日本に来ることができない海外客の日本食需要をとらえた「和歌山フェア」のさらなる拡大に取り組むとともに、海外バイヤーとのWeb商談や国内輸出商社との商談など、積極的に商談機会を提供いたします。

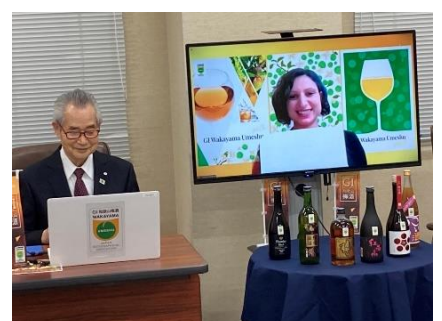
【多様な商談機会の提供】

また「G1和歌山梅酒」のフランスでのブランド化を推進するとともに、昨年、日本初の出荷を果たしたベトナムへの温州みかん輸出のさらなる拡大など、市場開拓に取り組みます。加えて輸出先国の規制緩和に向けた働きかけや生産基盤の整備等、輸出拡大に向けた環境整備にも取り組めます。

【戦略的マーケティング】

多様なチャンネルでの魅力発信を目指し、フランスでのG1和歌山梅酒アンバサダーの活用、海外から販促ツールとしてニーズの高い多言語による動画の提供など、県産食材のPRを効果的に行います。

【魅力の発信】



Attention!

1.海外見本市出展等による商談機会の充実

県内事業者が、国内外で輸出の商談ができる機会をWeb等の活用により提供します。

(主な取組)

- 海外展示商談会への出展
 - ・ 第5回中国国際輸入博覧会
 - 【開催期間】 11月5日(土)～10日(木)
 - 【開催場所】 国家会展中心(上海)



第4回中国国際輸入博覧会



Wine Paris & Vinexpo Paris 2022

'21実績

- ・ 第4回中国国際輸入博覧会 (Web商談)
 - 【開催期間】 2021. 11. 5～11. 10
 - 【県内事業者】 6社
- ・ Wine Paris & Vinexpo Paris 2022 (Web商談)
 - 【開催期間】 2022. 2. 14～2. 16
 - 【県内事業者】 6社
- ・ 沖縄大交易会への出展
 - 【開催期間】 オンライン 2021. 8. 2～12. 24
 - リアル 2021. 11. 25～11. 26
 - 【県内事業者】 4社



沖縄大交易会

注目! ○ 国内輸出商社との商談会

- ・ 輸出に携わる国内商社を招へいし、事前マッチング形式の個別商談会を2回開催
 - 【開催時期】 9月・2月頃
 - 【開催場所】 和歌山県内
- ・ Webを活用し、国内商社との個別商談をマッチングし、随時実施



国内輸出商社との商談会



'21実績

- 【開催日】 2022. 1. 25～1. 26
- 【開催日】 2022. 3. 23 (Web商談)
- 【参加者】 輸出商社 2社、県内事業者 18社
- 【参加者】 輸出商社 2社、県内事業者 4社

○ 海外バイヤーとのWeb商談会

- ・ 「和歌山フェア」開催のためのWeb商談会
 - 台湾6月頃、香港7月頃、米国9月頃、ベトナム10月頃
- ・ 「レストランフェア」開催のためのWeb商談会
 - マカオ7月頃、香港9月頃



和歌山フェアin 香港Web商談会

'21実績

- マカオ日本食料理店バイヤーとの商談 (2021. 6～7)
- 香港への青梅・桃輸出に向けた商談 (2021. 6. 2)
- 香港「和歌山フェア」に向けた商談 (2021. 7. 25～7. 26)
- 米国・ロサンゼルス「和歌山フェア」開催のための商談 (2021. 9. 28～9. 29)
- ベトナムへのみかん輸出に向けた商談(2021. 11. 11)
- Web商談会等実施合計数 168件 (2022. 2末現在)

注目! ○ライブコマースを活用した販売促進

ニューノーマル時代に対応した新たな販売方法として注目される「ライブコマース」を活用し、海外のライブ配信番組での販売プロモーションを実施



ライブコマースの様子

'21実績

○シンガポールのライブ配信番組での販売プロモーション (2022. 3)

○デジタルを活用した海外展開支援

・「JAPAN STREET」事業の活用

ジェットロが設定する基準を満たす海外の有力バイヤーのみが閲覧可能なオンラインマッチングサイト「JAPAN STREET」の活用を促進し、県内事業者と海外バイヤーとの商談機会を創出



JAPAN STREET

・「JAPAN MALL」事業の活用

世界各国におけるEC市場の急速な拡大を踏まえ、海外の主要ECサイトを通じた日本商品の輸出拡大を目的にジェットロが展開する「JAPAN MALL事業」の活用を促進

【対象国・地域】中国、東南アジア、中東、北米、中南米、欧州など



JAPAN MALL

'21実績

○JAPAN STREET事業 【県内参加事業者】 43社 (うち食品事業者33社)

○JAPAN MALL事業 【県内参加事業者】 43社 (うち食品事業者31社)

○MOU締結を活用した商談機会等の創出

※MOU: 行政機関等の組織間の合意事項を記した文書

- ・香港貿易発展局 (2013.7.5締結)
- ・ベトナム農業農村開発省 (2015.3.11締結)、商工省 (2018.10.8締結)
- ・タイ王国商務省 (2019.5.28締結)

注目! ○Web用商談ツールの充実

ポータルサイト「おいしく食べて和歌山モール」内に外国語版県産品ページを作成し、輸出に取り組む意欲のある県内事業者の商品を海外バイヤー、国内輸出商社等に提案



和歌山の安全・安心な農産物や加工品を仕入れませんか?
バイヤーと県内事業者をマッチング。
かんたんに商談が始められる仕組みです。

【掲載言語】英語・中国語・日本語

バイヤー向けページ

Attention!

2.海外における和歌山プロモーション

戦略的マーケティング【輸出】

海外において、魅力ある県産品の認知度向上及び輸出拡大を目指し、果実・加工食品フェアやレストランフェアの開催、関係機関と連携した食品輸出ミッションなど各種プロモーションを実施します。

(主な取組)

注目! OGI 和歌山梅酒プロモーションの推進

県産梅酒が酒類の地理的表示(GI)の指定(2020.9.7)を受けたことを契機に、GI和歌山梅酒管理委員会とともに、日・EU経済連携協定により和歌山梅酒が保護対象にあるフランスでのブランド化を推進

＜和歌山梅酒ブランド化推進事業 in フランス＞

- ・アンバサダーによるSNSを活用した和歌山梅酒の情報発信
- ・ECサイトと連携した和歌山梅酒セミナーの開催
- ・有名バーテンダーによる和歌山梅酒のカクテルレシピの開発
- ・和歌山の食と和歌山梅酒のペアリング動画の作成
- ・現地酒販店等における和歌山梅酒販売キャンペーンの実施 など



認証ロゴマーク



イベント動画



インタビュー編

R3プロモーションイベントの様子

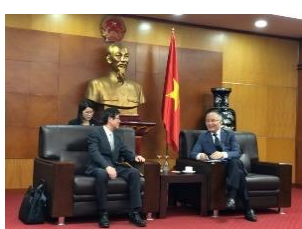
注目! Oベトナム向けみかん販売プロモーション及びベトナム食品輸出ミッション団の派遣

令和3年10月1日の日本産温州みかん輸出解禁後、JAグループ及びJETROと連携し、更なる輸出拡大に向けて販売促進活動を行うとともに、近年、農林水産物・食品の輸出額の増加率が最も著しいベトナムへの販路開拓を目指し、食品ミッション団を派遣

【訪問都市】ホーチミン市 他

【訪問時期】11月頃

【内 容】販売促進活動、商談会、レストランイベント、現地展示会視察、市場調査



'21実績

○GI 和歌山梅酒プロモーション

- ・ブランドアンバサダーオンライン任命式開催 (2022. 1. 18)
- ・Wine Paris & Vinexpo Paris 2022出展 (2022. 2. 14~2. 16)
- ・フランスでプロ向けプロモーションイベントを開催 (2022. 2. 17)

○ベトナム向けみかん販売プロモーション

- ・輸出出発式典 (2021. 11. 28)
- ・ベトナムハノイ、ホーチミン他主要都市の日系スーパー「イオン」及びホーチミンの高級食材店「アンナムグルメマーケット」等での販売促進活動を実施 (2021. 12)

注目! ○ PPIHとの連携協定を活用した「和歌山フェア」の拡大

2021年3月に株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス（PPIH）との間で、県産品の輸出拡大に向けた連携協定を締結したことを受け、同社が運営するアジアや米国などの海外店舗で、加工食品や青果のフェアを開催し、県産品のPRと新たな販路拡大を目指す

<ロサンゼルス和歌山フェア>

【開催時期】5月頃

- ・名称：PPIH・ロサンゼルス和歌山フェア
- ・内容：米国ロサンゼルスのマルカイコーポレーション（PPIHグループ）運営店舗（8店舗）において加工品を中心とする和歌山フェアを開催

<和歌山フェア in 香港DON DON DONKI >

【開催時期】11月頃

- ・名称：和歌山フェアin香港DON DON DONKI
- ・内容：香港DON DON DONKI（全7店舗展開）において加工品を中心とする和歌山フェアを開催

※上記以外の海外店舗でも「和歌山フェア」の開催に向け、調整中。



和歌山フェア in 香港DON DON DONKI



PPIHとの連携協定締結式



米国での柿プロモーション

'21実績

- ロサンゼルス和歌山フェアに向けた商談会（県内22事業者参加）（2021.9）
- 香港DON DON DONKI全7店舗で和歌山県産梅酒等41商品が定番商品化（2021.11～）
- 香港DON DON DONKI3店舗で196商品出品の和歌山フェアを開催（2021.11～2022.2）
- 米国ロサンゼルス食品スーパー「Tokyo Central」及び「Marukai」で柿の販売プロモーションを実施（2021.10）
- 台湾のDON DON DONKIで県内事業者の加工食品販売拡大（2022.1～）
- 香港、シンガポール、マカオ、台湾のDON DON DONKIで県産温州みかんの販売（2021.12～）

○高級スーパーや百貨店での店頭販促等の実施

<果実フェア>

- ・もも 香港7月 ・かき 米国・香港10月頃
- ・みかん 香港10月頃、ベトナム11・12月頃、台湾12月頃
- ・いちご 香港（まりひめ）2月頃

<加工食品を中心とした和歌山フェア>

- ・台湾 11月頃、・米国（ニューヨーク）11～12月頃



台湾でのみかんフェア

'21実績

- 和歌山フェアの開催
 - [加工品] 台湾（台北）（2022.2）
 - [もも] 香港：店頭販促（2021.7）・フードエキスポ 店頭販促（2021.8）
 - [かき] 米国・ロサンゼルス：店頭販促（2021.10）、[かき・みかん] 香港：店頭販促（2021.11）
 - [みかん] ベトナム：店頭販促（2021.12）、台湾：店頭販促（2021.12）
 - [いちご（まりひめ）] 香港：店頭販促（2022.2）

3.輸出拡大に向けた環境整備

国の輸出重点品目に「かき・かき加工品」が追加されたことを後押しとしながら、国が輸出促進政策として実施する施設整備や販路開拓の支援策を活用するとともに、国の輸出戦略等に産地の意見を反映。また関連して、日本貿易振興機構(JETRO)との連携をさらに図るなど、幅広く輸出拡大に向けた環境整備を図ります。

(主な取組)

○食品輸出セミナー等の開催

- ・JETRO等との共催によるセミナーの開催
【開催時期】5月頃～(年間5回程度)
【開催場所】和歌山県内
- ・JETRO等との共催による相談会の開催
【開催時期】5月頃～(年間2回程度)
【開催場所】和歌山県内
- ・関西広域連合「食品輸出セミナー」の開催
【開催時期】1～2月頃 【開催場所】未定



「海外展開を応援！」西牟婁出張相談会in田辺の様子

'21実績

- ・県による政府要望により「かき・かき加工品」が重点品目に追加
- ・ベトナムへの温州みかん初輸出で、JETRO和歌山を通じ、現地事務所と連携したプロモーションを実施
- ・JETRO和歌山、(公財)わかやま産業振興財団等と共催でセミナーを開催
「貿易実務講座・入門編」(2021.6.29 リアル・Web開催)
「貿易実務講座・実践編」(2021.7.28 リアル・Web開催)
- ・JETRO和歌山と共催でセミナー及びワークショップを開催
「越境ECを活用した中国向け食品輸出セミナー」(2021.7.29 Web開催)
「海外バイヤーに響く製品マーケティング ブランディング構築から商談準備まで～輸出促進のためのワークショップ～」(2022.3.4 リアル開催)
- ・JETRO和歌山、(公財)わかやま産業振興財団等と共催で相談会を開催
「「海外展開を応援！」西牟婁出張相談会in田辺」(2021.10.28 リアル・Web開催)
- ・関西広域連合「食品輸出セミナー」(2022.1.27 Web開催)

○グローバル産地づくりの推進

- ・輸出先のニーズや規制等に対応したグローバル産地の形成を進めるため、計画策定、生産・加工体制の構築、事業効果の検証・改善などの取組を支援(国庫補助事業)

'21実績

- ・GFPグローバル産地づくり推進事業採択産地 1件

○輸出向けHACCP等対応施設整備の支援

- ・輸出先国のニーズに対応した製品製造やHACCP等の認証取得に必要な規格を満たすため、食品製造事業者等の施設の新設・改修及び機器の整備を支援(国庫補助事業)



真空包装機



エアシャワー



果実洗浄機

'21実績

- ・食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備 竣工 2件

○農産物の生産体制等の強化（県関係課室・研究機関等が連携）

- ・輸出向け農産物を確保・増産するため、輸出園地や輸出専用施設の整備等を支援
- ・民間企業や県試験研究機関等と連携し、長期輸送を可能とする鮮度保持技術の確立に向けた研究を推進
- ・海外の残留農薬基準に対応した病害虫防除暦例を策定



輸出専用施設の整備（もも選果ラインの検疫対応）



輸出柿の鮮度保持技術確立のための輸送試験

'21実績

- ・農林水産業競争力アップ技術開発 研究テーマ（令和2～4年度実施）
 〈かき・もも研究所〉かきの輸出および簡易貯蔵を可能とする鮮度保持技術の開発
 〈うめ研究所〉海外向けうめ果実の流通技術の開発
- ・民間企業とのかき輸出における鮮度保持技術の研究・試験を実施

○輸出用ロゴマークの活用及び商標監視

- ・和歌山ブランドの海外での認知度向上を目指し、輸出用ロゴマークを制定
 海外プロモーションでの活用のため、中国、香港、台湾、マレーシア、シンガポール、タイで商標登録
- ・「和歌山」「紀州」の不正な商標出願・登録を監視
 監視対象地域：中国・香港・台湾



'21実績

- ・監視による検出数（類似含む） 597件

○輸出証明書の発行

- ・台湾向け輸出に関して県内で生産・加工されたことを証明する原産地証明書の発行
- ・タイ向け輸出青果物の選果・梱包施設に係る衛生管理の認証・証明書の発行について、国のオンラインシステムを利用した申請受付・発行に対応



タイ向け輸出青果物の選果・こん包施設衛生証明書発行のための現地調査の様子



国の輸出証明書オンライン発給システム（一元的な輸出証明書発給システム）

'21実績

- ・原産地証明書の発行 台湾向け 14件
- ・タイ向け輸出青果物の選果・梱包施設の認証 10件

○インポートトレランス申請の促進

輸出先国で残留基準が設定されていない農薬は使用できないため、輸出先国において基準値を設定するために必要な申請を促進

4.輸出拡大に向けた魅力の発信

県産果実・加工食品の魅力を、様々なチャンネル・言語を使って海外へ積極的に発信します。
(主な取組)

○G I 和歌山梅酒アンバサダーを活用した梅酒プロモーション

- ・フランスの有名女性ソムリエをアンバサダーに任命。フレンチと和歌山梅酒のマリアージュの提案等、プロの観点から、和歌山梅酒の魅力をSNS等で積極的に発信
- ・G I 和歌山梅酒プロモーション動画（フランス語）の活用



○県産果実PRサイト（中国語）や梅酒マッピング図（英・中・仏）等の活用

- ・県産果実を紹介する中華圏向けのPRサイトや梅酒マッピング図（英・中・仏）を活用し、海外でも本県産の魅力PR



果実PRサイトページ及びQRコード

梅酒マッピング図（英・中・仏）

○海外高級飲食店での県産食材を使用した「和歌山レストランフェア」の開催

- ・マカオの高級日本食料理店
【開催時期】 11月頃
- ・香港の高級日本食料理店
【開催時期】 1月頃



'21実績

○マカオのFuture Brightグループ（佳景集団）が運営する日本食レストラン「江戸」5店舗で県内事業者（11社）の商品を使ったメニューを作り「和歌山レストランフェア」を開催（2021.12～2022.2）

○4大果実（みかん・梅・桃・柿）PR動画（中国語・英語版）の活用



Ⅲ. 国内市場の販売促進強化

「食の宝庫」和歌山県では、加工品を含め多くの魅力ある産品とそれらを生み出すストーリーに溢れています。これらの県産品を携えて出展する対面式の展示商談会は、県産品の魅力を首都圏等のバイヤーへ効果的に訴求できることから、引き続き十分な感染症対策を講じたうえで、首都圏での大型展示商談会等への出展や、大阪・和歌山での商談会の開催に取り組みます。

一方、商談会が一部オンラインに移行するなど、デジタルシフトが加速していることから、Webや商談代行など「時間」や「場所」、「手法」とらわれない様々な商談機会を提供し、販路の開拓や拡大を支援します。
【多様な商談機会の提供】

県産食材の機能性や品質の高さを、高級百貨店や老舗果物専門店等での利用促進を図ることでブランディングを進めるとともに、安全・安心を基本に“和歌山らしさ”“和歌山ならではの”の視点で推奨する「プレミアム和歌山」の認知拡大や販売促進を展開します。
【戦略的マーケティング】

さらなる健康意識の高まりや巣ごもり需要の増大を踏まえ、「おいしい！健康わかやま」、「おいしく食べて美しくなる」をキーワードとして、県産品情報をSNSやマスメディアで積極的に発信するとともに、大阪・関西万博の開催を見据え、「わかやま産品応援店」の拡大、「わかやまジビエ」の販売促進等の取組を加速していきます。

【魅力の発信】



Attention!

1.大型展示商談会への出展

新たな販路開拓や販路の拡大を支援するため、国内外の食品関係事業者やバイヤーが集結する大型展示商談会へ「おいしい！健康わかやま」をコンセプトとしたブースを出展します。

(主な取組)

注目! ○第41回健康博覧会2023

健康と美容をテーマに、様々な健康・美容業界のバイヤーが集結する展示商談会

【開催期間】2月8日(水)～10日(金)

【開催場所】東京ビッグサイト

【募集者数】6事業者(予定)

【募集時期】6月頃



ダイエット&ビューティフェア2021

'21実績

ダイエット&ビューティフェア2021

【開催期間】2021.9.13～9.15 【開催場所】東京ビッグサイト 青海展示棟

【来場者数】12,935人 【出展者数】5事業者

○第57回スーパーマーケット・トレードショー2023

スーパーマーケットを中心とする流通業界に最新情報を発信する商談展示会

【開催期間】2月15日(水)～17日(金)

【開催場所】幕張メッセ

【募集者数】24事業者(予定)

【募集時期】6月頃



スーパーマーケット・トレードショー2022

'21実績

【開催期間】2022.2.16～2.18 【開催場所】幕張メッセ

【来場者数】42,885人 【出展者数】18事業者

○第48回 FOOD EX JAPAN 2023

国内外の食品関係事業者やバイヤー等が参加するアジア最大級の国際食品・飲料専門展示商談会

【開催期間】3月7日(火)～10日(金)

【開催場所】東京ビッグサイト

【募集者数】16事業者(予定)

【募集時期】6月頃



FOOD EX JAPAN 2022

'21実績

【開催期間】2022.3.8～3.11 【開催場所】幕張メッセ

【来場者数】33,726人 【出展者数】16事業者

※和歌山県が出展するブースの中で、出展事業者の方々に商品等を展示していただきますので、個別に出展する場合に比べて展示面積はやや狭くなりますが、相乗効果による来場者の増加が期待されます。また、和歌山県が装飾等の費用を負担しますので、出展事業者の方々は経費を抑えて出展することができます。



2.食品卸・商社等主催商談会への出展

プレミアム和歌山など特色ある県産品の販路開拓に向け、大手食品卸・商社等が主催する展示商談会や通販食品展示商談会等へ出展します。（※プレミアム和歌山認定事業者を対象）
（主な取組）

○三井食品フードショー2022

全国の三井食品株式会社の客先企業等に対し、試食・試飲等を行い、プレミアム和歌山等の商品をPR

【開催期間】6月頃の2日間

【開催場所】パシフィコ横浜

【募集者数】5事業者（予定） 【募集時期】4月頃



三井食品フードショー2021

'21実績

【開催期間】2021.6.16～6.17

【開催場所】パシフィコ横浜

【出展者数】5事業者

○国分西日本展示商談会

関西圏中心の国分西日本株式会社の客先企業等に対し、試食・試飲等を行い、プレミアム和歌山等の商品をPR

【開催期間】7月頃の1日間

【開催場所】帝国ホテル大阪

【募集者数】4事業者（予定） 【募集時期】5月頃

※2021年は中止

○第12回通販食品展示商談会

通販・宅配食品業に特化した、日本で唯一の展示商談会

【開催期間】11月1日（火）～11月2日（水）

【開催場所】東京交通会館12階

【募集者数】10事業者（予定） 【募集時期】6月頃



第12回通販食品展示商談会

'21実績

【開催期間】2021.9.30～10.1

【開催場所】東京交通会館12階

【出展者数】10事業者

注目! ○フードスタイル九州2022

九州の小売・中食・外食業界に向けて販路拡大をする為の九州最大級の商談展示会

【開催期間】11月9日（水）～11月10日（木）

【開催場所】マリンメッセ福岡

【募集者数】10事業者（予定） 【募集時期】5月頃

○加藤産業新製品発表会

全国から集まる加藤産業株式会社の客先企業等に対し、試食・試飲等を行い、プレミアム和歌山等の商品をPR

【開催期間】1月中旬の2日間

【開催場所】神戸国際展示場

【募集者数】5事業者（予定） 【募集時期】11月頃



加藤産業新製品発表会

'21実績

① 【開催期間】2021.7.12～11.30

【開催場所】オンライン開催

【出展者数】12事業者

② 【開催期間】2022.1.13～1.14

【開催場所】神戸国際展示場

【出展者数】5事業者

3. 県主催産品商談会の開催

食品バイヤーを本県に招へいし商談するとともに、首都圏で開催される大型展示商談会へのステップとしても参加が可能な県主催の商談会を和歌山や大阪で開催します。

(主な取組)

○県産品マッチング商談会の開催

招へいする食品卸、小売等のバイヤーが求める商品と県内事業者の求める売り先を事前にヒアリングしたマッチング形式の商談会を開催するとともに、事業者の製造現場等へ案内

【開催時期】 9月頃

【開催場所】 和歌山県内

【参加バイヤー】 食品卸、小売(百貨店、スーパー等)、通販、
外食バイヤー 10～15名程度

【募集者数】 30社(予定)

【募集時期】 6月頃



商談会



現地視察

'21実績

第1回【開催日】2021.9.7～9.8 【開催場所】和歌山県民文化会館

【参加バイヤー】卸、小売、通販 13社13バイヤー

【参加者数・商談数】県内事業者33社、117商談

第2回【開催日】2022.3.17～3.18 【開催場所】和歌山県民文化会館

【参加バイヤー】卸、小売 4社5バイヤー

【参加者数・商談数】県内事業者18社、30商談

○わかやま産品商談会 in 和歌山

農水産物や新しく開発した加工食品の紹介など、主として県内での販路拡大や地産地消の推進を目的に開催

【開催時期】 11月頃

【開催場所】 ホテルアバローム紀の国

【募集時期】 4月中旬～5月初旬頃



わかやま産品商談会in和歌山

'21実績

【開催日】2021.11.22

【開催場所】 ホテルアバローム紀の国

【来場者数】 199人

【出展者数】 86社(団体) (うち新規事業者27社)

(リアル出展49社、展示エリア出展8社、オンライン出展29社)

○わかやま産品商談会 in 大阪

新規出展者や新商品の掘り起こしを行い、関西の食品バイヤー等に「わかやま産品」の魅力を紹介し、県内事業者の関西での販路開拓を支援

【開催時期】 1月頃

【開催場所】 大阪マーチャングイズ・マート

【来場企業】 卸売・流通業、小売業、外食業、
食品メーカー等約600人

【出展者数】 60社(予定)

【募集時期】 7月頃



個別商談会(Web)



わかやま産品商談会in大阪

'21実績

※新型コロナウイルス感染症の急拡大により中止

【開催予定日】2022.1.21 【申込出展者数】80社 【事前登録バイヤー数】294人

Attention!

4.個別商談機会の提供、Web商談や商談代行の活用

ミシュラン星付きレストランなどの世界的に有名なシェフ、有名外食事業者、有名百貨店、こだわりのあるセレクトショップのバイヤー等を生産現場に招き、魅力ある県産品を提案するとともに、Web商談や商談代行の活用により新たな販路を拡大します。

(主な取組)

○魅力ある生産現場への招へい等による商談

- ・外食関係者、シェフ等の食材調達キーパーソンを招へいし、県産品の魅力を発信
- ・大手食品卸、有名百貨店、スーパーマーケット及びセレクトショップ等のバイヤーを招いた個別商談会の開催
- ・影響力のある料理専門誌の編集者やインフルエンサー等を招へいし県産品のPR



料理専門誌による取材



シェフと産地の交流



メーカーの工場視察



メーカーの選果場視察

'21実績

- 亀田製菓(株)の商品開発担当者(2021.7.5)
- (株)フレッシュの営業担当者(2021.6.18、7.26、10.7)
- カルビー(株)の商品開発担当者(2021.10.29)
- Chefs for the Blue 所属シェフ(2022.1.17)
- Graciaのジェロム氏、パティスリーパリセヴェユの金子氏、STOVE+の齋藤氏(2022.3.7~3.9)

注目! ○Web商談の拡充

- ・関西広域連合として、域内の特色ある農林水産物の生産者や食品加工事業者の多様な販路の開拓を支援するため、事前マッチングが成立した小売や外食産業等バイヤーとのWebを活用した個別商談会を開催【実施時期】11月頃【募集時期】8月~9月頃
- ・大手卸やスーパーマーケット等の小売、通販事業者等とWebを活用した商談を実施【実施時期】随時



関西広域連合Web商談会

'21実績

- 令和3年度関西広域連合Web型マッチング商談会を開催(2021.11.9)
域内65事業者が参加、29バイヤーを招へいし、143件のWeb商談を実施
- 和歌山県産品マッチング商談会で三井食品(株)、(株)いかりスーパーマーケット、(株)京北スーパー、(株)シェルガーデン、(株)日本百貨店等とのWeb商談(2021.9.7)(2022.3.17)
- 高質スーパー青果バイヤーとのWeb商談(2021.12.10)

注目! ○FOODトレードアシストパッケージ(商談代行)

- ・和歌山にいながら地域産品に興味のある首都圏等バイヤーに対して、商社やスーパーマーケットのOB等、営業経験豊富な専門家が商談代行を実施【開催時期】7月~8月頃(予定)
【開催場所】東京都内 ※県内事業者の参加は不要
【募集者数】20事業者(予定)
【募集時期】5月頃



専門家による商談代行風景

'21実績

- 【開催日】2021.11.10~11.12
- 【開催場所】the C(東京都千代田区)
- 【参加バイヤー】スーパーマーケット、百貨店、通販バイヤー等 18社
- 【参加事業者】10社

Attention!

5. 県産品ブランディングセールス

県産食材の持つ機能性や品質の高さを高級百貨店、老舗果物専門店、外食店等での利用促進を図ることで、知名度とブランド力の向上を目指します。

(主な取組)

注目! ○「おいしく食べて美しくなるプロジェクト」の推進

食材の持つ美容に関する機能性をもとに、女性層を主なターゲットとして、美容という切り口で魅力を発信

- ・美と食材をテーマにSNSやWebを使った情報発信
- ・大手食品企業等とのタイアップによる共同開発商品の開発
- ・機能性ガイド「美容版」リーフレットを活用したイベント等での配布
- ・「健康博覧会2023」へのブース出展およびセミナーの開催
- ・首都圏外食店とのタイアップによる「和歌山の食材で美しくなるフェア」の開催



パワーサラダ専門店「HIGH FIVE SALAD」



SNSによる情報の発信



「ダイエット&ビューティーフェア2021」

○有名シェフイベントの実施

県内外のトップシェフによる産地視察等の実施

○料理専門誌（Webメディア等）とタイアップ記事を配信

外食業界において知名度が高く影響力のあるレストランの有名シェフを招へいし、魅力ある県産食材の提案を行うとともに、産地訪問の様子を料理専門誌に掲載することで料理業界での知名度とブランド力を向上



トップシェフによる産地視察

'21実績

- トップシェフによる産地視察（2022.3.7～3.9）
- 料理通信社「The Cuisine Press」【シェフと繋がる、シェフが求める食材の良さとは何かを知る】（2022.4～）
- 「第20回ダイエット&ビューティーフェア2021」への和歌山県ブースの出展及び料理研究家の島本美由紀氏を講師として、「わかやま食材をおいしく食べて美しくなる」セミナーを開催（2021.9.13～9.15）
- 「HIGH FIVE SALAD（ハイファイブサラダ）」にて、紀の国みかんどり、柿、みかん、うすいえんどう、ミニトマトを使用した期間限定メニューを提供（2021.11.1～11.30）
- 光文社発行の雑誌「美ST」12月号にて、県産みかんの魅力発信をテーマにしたタイアップ記事を掲載

注目! OORAとの連携による大阪・関西万博開催を見据えた外食への食材提案アプローチ

- ・大阪外食産業協会（ORA）等への県産食材の提案
- ・有名ホテル、レストラン等で和歌山フェアの開催
- ・外食関係者、有名シェフの招へいによる食材の魅力発信
- ・「資生堂パーラー」等の高級外食店への食材提案



資生堂パーラー銀座本店



キャピトルホテル東急「星ヶ岡」



○老舗果物専門店とコラボした県産果実のPR

- ・県産果実の販売や県産果実を使用した商品の開発
- ・新宿高野「フルーティーライフ教室」での県産果実の魅力発信
- ・新宿高野での「紀州てまり」のブランドPR



新宿高野本店

○県産食材のもつ機能性の発信

- ・機能性セミナーの開催や料理・栄養関係の専門誌への掲載
- ・女子栄養大学等とのタイアップ事業の実施
- ・梅ポリフェノールなど県産食材の持つ新たな機能性PR（機能性ガイド）



美容版機能性ガイド

○県産食材のテロワール（生産地の気候、風土、ストーリー）による魅力発信

- ・品目別テロワール冊子の作成
- ・「わかやま食材テロワール」メールマガジンの発行
- ・テロワール動画による県産食材の魅力発信
- ・料理レシピサイトでの特産品や郷土料理情報の発信



NEW テロワール冊子

○県オリジナル品種等の魅力発信

- ・県が育成した農産物の新品種や今後首都圏を中心に販売シェアを獲得したい品目について、重点的にプロモーションを展開



紀州てまり



まりひめ



紀州うすい



びんちょうまぐろ



鮎

'21 実績

- 阪急うめだ本店（もも：2021.7.7～7.13）、三越日本橋本店、三越銀座店・伊勢丹新宿店・クイーンズ伊勢丹（かき・みかん：2021.10.20～11.23）におけるフェアの開催
- 新宿高野とコラボしたPRイベントの開催（まりひめ）
- 資生堂パーラー、カフェコムサで県産果実を使用したスイーツの販売
- 銀座料理飲食業組合連合会での県産食材フェアを実施（熊野なまず：2021.10.1～10.10、紀州和華牛：2021.11.1～11.7）

6.有名百貨店等での販売促進

県産品の魅力発信及びブランド力の向上を図るため、有名百貨店とタイアップした効果的なPRや販売促進活動を展開するとともに、ターゲットとするマーケットの拡大を図ります。

(主な取組)

○県とJAグループで構成する「和歌山ブランド向上対策推進会議」を主体として、県産農産物のブランドイメージ定着に向けた効果的なPRを展開

- ・首都圏高級百貨店（三越日本橋店、三越銀座店、伊勢丹新宿店等）とタイアップした「和歌山フェア」の開催
- ・首都圏有名百貨店の発信力を活用した新品种のPR
- ・首都圏等での県産農産物の高品質・高級イメージを押し出したPRイベントの開催



柿でハロウィンイメージのPR
(三越日本橋店)



みかん・柿の販売コーナー
(三越銀座店)



紀州てまりPR販売



JALふるさと応援隊
店頭販促
(伊勢丹新宿店)



イートインレストランへの
メニューイン

'21実績

No	会期（百貨店和歌山フェア）	県産農産物	会場
1	2021. 7. 7～2021. 7. 13	もも	阪急うめだ本店
2	2021. 10. 20～2021. 10. 26	かき(たねなし柿)	三越日本橋本店
3	2021. 11. 3～2021. 11. 9	新品种甘柿(紀州てまり)	伊勢丹新宿店
4	2021. 11. 10～2021. 11. 16	みかん、かき(紀の川柿、富有柿等)	三越銀座店
5	2021. 11. 17～2021. 11. 23	みかん、かき(紀の川柿、富有柿等)	伊勢丹新宿店

○有名百貨店での食品催事等の開催

- ・首都圏等の有名百貨店における食品催事の開催
京王百貨店新宿店「三重・和歌山・愛知の物産展」
【開催日】5月12日～17日 【出店者数】10社程度
- ・近隣県と連携した物産展の開催
- ・有名百貨店への県産品の提案やオンライン物産展の開催



京王百貨店
(2021.10.14～19)



山形屋
(2022. 2. 16～22)

'21実績

No	会期	フェア名	会場	出店者数
1	2021. 10. 14～2021. 10. 19	第1回 三重・和歌山・愛知の物産展	京王百貨店新宿店	9
2	2022. 2. 16～2022. 2. 21	第10回 三重・和歌山・奈良の物産展	山形屋	13
3	2022. 3. 23～終了未定	タカシヤマオンライン「和歌山・三重・愛知の物産展」〈3ページ再掲〉	オンライン	14

○ターゲットとするマーケットの拡大

- ・神奈川や千葉等、大都市周辺地域や福岡や新潟等、地方の都市部の高質スーパー等での販路開拓や拡大を強化
- ・フードスタイル九州2022への出展〈15ページ参照〉

'21実績

○県産品マッチング商談会に（株）大寿（神奈川県）、（株）京北スーパー（千葉県）（株）石原（千葉県）、（株）いかりスーパーマーケット（兵庫県）が参加（2021. 9. 7）

7.わかやま紀州館を活用した販路開拓

東京都有楽町に設置する県アンテナショップ「わかやま紀州館」を活用した販路の開拓支援と首都圏で県産品の魅力をPRします。

(主な取組)

- 「わかやま紀州館」での県産品の販売・PR
 - ・テストマーケティング販売（3ヵ月間）の実施
 - ・県内事業者への店頭販売スペースの提供
 - ・店頭での特集コーナー設置による旬の商品紹介
 - ・マスコミへの取材協力を通じた県産品の機能性をPR
 - ・ふるさと広報大使等を活用した誘客イベントの開催



わかやま紀州館店頭販売の様子

○バイヤー向け商談機能の強化

- ・「わかやま紀州館」を首都圏バイヤー向けの商談拠点とし、バイヤーが商品を手にとることができ、常駐職員を通して、県内事業者とのマッチングを実施



紀州館オンラインショップ QRコード

○わかやま紀州館オンラインショップでの販売

- ・多様なお客様ニーズに対応するため、紀州館で販売する商品をオンラインショップでも販売

○店舗外での県産品のPRや販売

- ・首都圏等での発信力の高いイベントへの出店

○「わかやま紀州館mini」を活用した県産品の販売・PR

- ・県外で県産品を販売するスペースを有する店舗（「わかやま紀州館mini」）の全国展開を加速



首都圏でのイベント出展の様子

(店舗情報)

【わかやま紀州館】

- 場所 東京都千代田区有楽町2-10-1
- 営業時間 10:00~19:00 (日曜・祝日は10:00~18:00)
- 店舗連絡先 03-6269-9434 (物産)

【わかやま紀州館mini】

- 全国30店舗 (2022.3.31時点)
- (東北1、関東11、北陸1、中部3、近畿8、中国4、九州2)



紀州館mini 1号店 (クレイン大阪) の様子



紀州館mini新規登録店 (かびまーと) の様子

'21実績

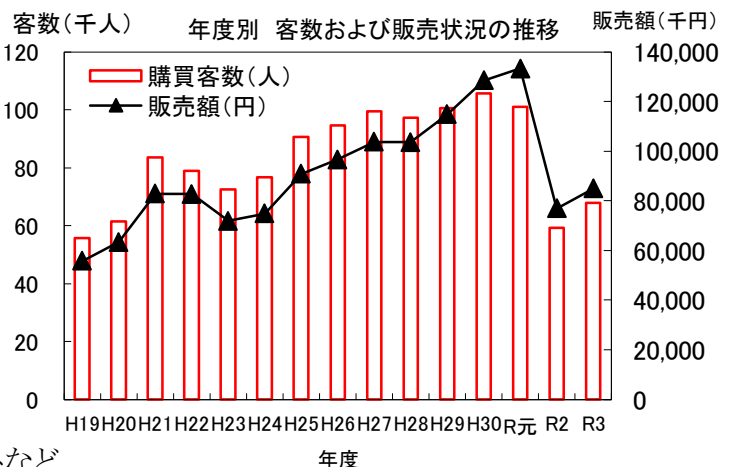
○わかやま紀州館

(2022.3.31現在)

- 【購買者数】67,884名 (対前年度 114.7%)
- 【売上】8,494万円 (対前年度 110.4%)
- 【出品事業者数】202社
- 【出品アイテム数】782点 (時短営業54日間、臨時休業2日間)

○出前紀州館

- 【出店回数】9回
- 【売上】約185万円
- ※主な出店先 羽田イノベーションシティ、渋谷キャストなど



8.プレミアム和歌山のストーリー展開

首都圏でのPRイベントの開催、大手食品卸主催の展示商談会への出展、物産店舗・百貨店・高質スーパー等への出店及び多様な流通ツールの活用により、プレミアム和歌山の認知拡大及び販売促進を展開します。



和歌山県優良県産品推奨制度
プレミアム和歌山

※プレミアム和歌山とは
①和歌山県内で生産・製造されたもの
②安心・安全を重視したもの
③和歌山らしさ・和歌山ならではのもの
これらの観点から、優良な県産品を認定・推奨する制度

(主な取組)

○物産店舗等出店

- ・首都圏等の鉄道駅構内や百貨店、高質スーパーなどで一般消費者向けにプレミアム和歌山の展示・販売を行うブースを出店



令和3年度審査員特別賞
《金山寺味噌》

○大手卸主催展示・商談会に和歌山県ブースを出展<15ページ参照>

- ・三井食品フードショー
- ・加藤産業新製品発表会
- ・国分西日本展示商談会



物産店舗出店
(阪急大阪梅田駅構内)

○プレミアム和歌山PRイベントでの販売促進

- ・ホテル椿山荘におけるPRイベントにバイヤーを招へいし、商談会を開催

○オンラインお土産サービス(みやげっとdeプレミアム和歌山)

- ・ホテル等に設置する専用POPのQRコードを読み取り、メールやLINE等でプレミアム和歌山認定商品を簡単に贈れるサービスを活用し、更なる購入機会を創出



PRイベント
(ディアモール大阪)

○通販番組や通販サイト等の活用<3ページ参照>

○第12回通販食品展示商談会への出展<15ページ参照>

○フードスタイル九州2022への出展<15ページ参照>



みやげっとdeプレミアム和歌山

'21実績

- ご当地グルメフェアin横浜 supported by ふるさと祭り東京出展
【開催期間】2021.8.13~8.19 【開催場所】そごう横浜
- わかやま紀州館阪急梅田店出店
【開催期間】2021.9.24~10.5 【開催場所】阪急大阪梅田駅2階
- ディアモール大阪「プレミアム和歌山フェア」開催
【開催期間】2022.3.15~3.16 【開催場所】ディアモール大阪
- みやげっとdeプレミアム和歌山
【事業者/商品数】63事業者/193商品
【設置場所】25箇所(ホテルアバローム紀の国、マリーナシティホテルなど)
- 通販カタログ「フェリシモ」タブロイド判への掲載 <3ページ参照>
- テレビ東京系列通販テレビ番組及び通販サイト <3ページ参照>
- 三井食品フードショー2021 出展 <15ページ参照>
- 加藤産業新製品発表会 出展 <15ページ参照>
- 第11回通販食品展示商談会 出展 <15ページ参照>

9. 「おいしい！健康わかやま」の推進

より多くの消費者に和歌山の食材を知ってもらうため、「おいしい！健康わかやま」をキャッチフレーズに魅力いっぱいの県産品情報を発信します。

(主な取組)

○食イベントへ「和歌山県」ブースを出展

日本最大級のBtoCイベントである、「日本のまつりと故郷の味」をテーマにした「ふるさと祭り東京2023」に和歌山県ブースを出展し、県産品を販売・PR

【開催時期】1月上旬

【開催場所】東京ドーム

【主催】ふるさと祭り東京実行委員会

(フジテレビジョン、文化放送、東京ドーム)

【募集期間】6月～7月

【募集数】12事業者(予定)



ふるさと祭り東京2020 会場

'21実績

新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

○ソーシャルメディア等を活用した「おいしい！健康わかやま」の魅力発信

- ・インスタグラムで「おいしい！健康わかやま」フォトコンテストを開催し、新たな県産品のファンを獲得
- ・拡散効果が期待できる「高い話題性」や「高いエンタメ性」のある県産品情報や、クックパッドと連動したレシピ投稿など、幅広い層にアプローチできる情報をソーシャルメディアで発信
- ・和歌山県ゆかりの方々の協力による、YouTubeやInstagram等を活用した県産品の魅力発信
- ・県産品PR用販促資材の貸与



中島由貴氏×あらかわの桃

'21実績

○SNSで「おいしい！健康わかやま」を情報発信(2022.3.31現在)

フォロワー数: Facebook 1,303人、Instagram 5,183人、Twitter 3,798人、YouTube 947人(総再生回数 215,870回)

○Instagramで「おいしい！健康わかやま」フォトコンテストを開催

- ①「#わたしのわかやまポンチ」 投稿数105枚
- ②「#わたしの秋レシピ」 投稿数287枚
- ③「#わたしのほろ酔いわかやま」 投稿数164枚

○Instagramリール動画として、県産品PR動画を制作

○クックパッドにおける県産食材や産地の魅力発信

- ・クックパッド「和歌山県食品流通課」での県産食材の楽しみ方や産地情報の発信

柿とクリームチーズのサラダ



和歌山新生姜のシロップ
(ジンジャーエール)



レシピの紹介

和歌山の桃コンポート



クックパッドブログ

うれしい出来事



人気検索
トップ10入り

'21実績

○県産食材を使用したレシピの投稿(70件)、ブログでの産地情報等発信(10件)

○人気検索でトップ10入り(9件)(2022.3.31現在)



10.大手食品企業とのタイアップによる商品開発

好感度が高く発信力のある大手食品企業とのタイアップにより商品づくりを行うことで、広く県産食材のPRを行い、さらなるイメージアップとわかやま食材のファンづくりを推進します。

(主な取組)

- 大手食品・飲料メーカー、コンビニエンスストアに県産食材の魅力をPR
- 「和歌山県共同開発商品PRマーク」の利用促進
- 「おいしく食べて美しくなる」プロジェクト商品の開発
- 産地とコンビニエンスストアの連携による商品開発



SNSを活用した情報発信



メーカーと協働した県庁内食堂でのPR



コンビニと協働したPR

食品メーカーやコンビニエンスストアで発売された県産食材を使った協力商品



メルシャン(株)



亀田製菓(株)



イオンリテール(株)



カゴメ(株)

『和歌山県共同開発商品PRマーク』

全国での和歌山県産品の認知向上を図ることを目的に、県と民間企業とが県産品を活用して共同開発した商品に付すロゴマークです。



ローソン(株)



(株)セブン-イレブン・ジャパン



UHA味覚糖(株)



アサヒ飲料(株)

'21 実績

- メルシャン(株)が県産「完熟南高梅」を使用した、『まっこい梅酒』を発売 (2021.4.5～ 全国の量販店他)
- 亀田製菓(株)が県産「ぶどう山椒」を使用した、『亀田の柿の種 山椒味』(2021.5.17～)、『技のこだ割り 和歌山県産ぶどう山椒味』を発売 (2021.8.30～ 全国のコンビニ 他)
- ローソン(株)が県産「梅干、梅酢、紀の国みかんどり、しらす」を使用した『和歌山うまいもんおにぎりセット』、県産「温州みかん入りソース」を使用した『とろ生食感のチーズケーキ 和歌山県産温州みかんの果汁入りソース』(2021.7.20～)、県産「完熟梅ペースト、はっさく」を使用した『わかやまポンチ』、県産「温州みかん果汁」を使用した『スコール わかやま温州みかん』を発売 (2021.7.27～ 近畿2府4県のローソン店舗 約2,400店)
- イオンリテール(株)が県産「温州みかん果汁」を使用した、『和歌山みかんサワー』を発売 (2021.11.15～ 全国のイオン、イオンスタイル店舗)
- カゴメ(株)が「有田みかん果汁」を使用した、『野菜生活100 有田みかんミックス』を発売 (2021.11.23～ 全国の量販店、コンビニ 他)
- (株)セブン-イレブン・ジャパンが「有田みかん」を使用した、『有田みかんサンド』を発売 (2021.11.24～ 近畿2府4県のセブン-イレブン店舗)
- UHA味覚糖(株)が「有田みかん果汁」を使用した、『有田みかんのど飴』を発売 (2022.1.24～ 全国の量販店・コンビニ 他)
- アサヒ飲料(株)が県産「南高梅」の果汁・ピューレを使用した『三ツ矢梅』を発売 (2022.2.1～ 全国の量販店 他)

Attention!

11. 県産酒類の魅力発信

和歌山の「日本酒」「本格梅酒」「クラフトビール」等のそれぞれの魅力や特徴をわかりやすく国内外の消費者にPRすることによるファンづくりと消費拡大を目指します。

(主な取組)

注目! ○日本酒や本格梅酒の魅力各種大型イベントでPR

- ・「梅酒マッピング図」を活用のもと、銀座料理飲食業組合連合会との連携による和歌山県の梅酒フェアを開催し、各店舗を通じた梅酒の魅力発信を展開
- ・酒類の地理的表示指定を契機として作成した「梅酒マッピング図」活用による「本格梅酒」・「GI和歌山梅酒」の魅力発信
- ・「日本酒マッピング図」を活用した日本酒の魅力の発信

日本酒マッピング図



梅酒マッピング図



【本格梅酒】とは

日本洋酒酒造組合が平成27年1月23日に制定した自主基準で、うめ・糖類・酒類のみを原料とし、酸味料等を使用していない梅酒

【GI和歌山梅酒】とは

本格梅酒のうち、一定の生産基準を満たし品質が保証されているとして「GI和歌山梅酒管理委員会」の審査により認められた梅酒



・イベントや百貨店フェア、商談会などの機会を通じたPRの実施



阪急梅田百貨店
「旅するSAKE」フェア



紀の国わかやま文化祭2021
「わかやま食と芸能の祭典」



**おいしい！健康わかやま
フォトコンテスト白★**

期間：令和3年12月13日（月）～令和4年1月20日（水）

テーマ **#わたしのほろ酔いわかやま**

「お母さんのお気に入りの和歌山の酒の写真」や「和歌山の酒をおいしく楽しんでいる写真」を大募集！
「#わたしのほろ酔いわかやま」をつけて投稿してください。
優秀作品には和歌山の酒（3,000円相当分）をプレゼントします！

「#わたしのほろ酔いわかやま」
キャンペーン

'21 実績

- 「日本酒マッピング図」・「梅酒マッピング図」のイベント等での配付
- 首都圏等におけるPR展開
 - ・阪急梅田百貨店「旅するSAKE」フェアへの出展（2021.4.7～4.12）
 - ・ダイエット&ビューティーフェア2021におけるPR（2021.9.13～9.15）
 - ・羽田イノベーションシティ1周年イベントにおける販売PR（2021.11.5～11.6）
 - ・紀の国わかやま文化祭2021「わかやま食と芸能の祭典」における販売PR（2021.11.13～11.14）
- SNSを活用したPR展開
 - ・Instagram「#わたしのほろ酔いわかやま」キャンペーン（2021.12.13～2022.1.20）

12.大阪・関西万博開催を見据えたご当地グルメの魅力発信

県産食材の魅力を地域から発信するため、「わかやまポンチ」「紀州梅バーガー」「わかやま産品応援店」「わかやまジビエ」「わかやまスムージー」の取組を展開します。

(主な取組)

○ご当地グルメ紹介Webサイト「わかやま食ツーリズム」による魅力発信

- ・大阪、東京を起点としたモデルコースを作成し、「わかやまポンチ」「紀州梅バーガー」「わかやま産品応援店」「わかやまジビエ」を紹介し登録店舗情報を発信



【わかやまポンチ】とは

- ①和歌山県産のうめ甘露煮又はシロップ漬け等の使用
- ②和歌山県産フルーツを1つ以上使用
- ③使用しているフルーツの説明があること



【紀州梅バーガー】とは

- ①和歌山県産のうめを使用していること
- ②うめの健康イメージをアピール出来ること
- ③和歌山県産のうめであることを表示すること



【わかやま産品応援店】とは

和歌山県の豊かでおいしい食材をPRするため、県産食材を使ったメニューの提供や販売を行うお店



【わかやまジビエ】とは

和歌山県内で捕獲され、食品営業許可を得た県内施設で処理加工された野生イノシシ及びシカ肉のこと



わかやまポンチ



紀州梅バーガー



応援店看板



わかやまジビエ



わかやま食ツーリズムPR用カードとQRコード



わかやま食ツーリズムWebサイト

○「わかやまジビエ」の販売促進と安全・安心のPR

- ・高級百貨店、食肉卸売業者、量販店での販売促進
- ・ジビエ肉質等級制度により外食業界へ積極的にPR

【わかやまジビエ肉質等級制度】とは

県認定格付員により、認証施設で解体した肉をイノシシ3等級、シカ2等級に格付けする制度



スーパーでジビエ販売



ジビエソーセージ

○「わかやまスムージー」

- ・企業と連携した新商品の開発・販売
- ・県産野菜を使ったレシピ開発及びPR

【わかやまスムージー】とは

複数の野菜・果実を使用し、かつ和歌山県産の野菜又は果物を1つ以上使用したスムージー



わかやまスムージー

'21 実績

【わかやま食ツーリズム】

○「わかやまポンチ」「紀州梅バーガー」「わかやま産品応援店」を紹介したご当地グルメ紹介Webサイト「わかやま食ツーリズム」に「わかやまジビエ」を追加(2022.2.1)

掲載店舗数(2022.2.1現在) わかやまポンチ : 36店舗 紀州梅バーガー : 4店舗
わかやま産品応援店 : 129店舗 わかやまジビエ : 31店舗

【わかやまポンチ】

○(株)ローソンとのコラボ(2021.7.31)、国土交通省半島振興室の半島応援メディア(Webサイト)『半島は日本の台所』にて『わかやまポンチ』を紹介(2021.8)、『#わたしのわかやまポンチ』をテーマとして、おいしい!健康わかやまフォトコンテストを実施(2021.7.21~8.1)

【わかやまジビエ】

○メッサオークワ高松店、ガーデンパーク店で販売(2022.1.29~1.30、2.12~2.13)

13.食品関係産業の振興

経済団体、金融機関、行政機関、食品産業団体等が協力体制を構築し、オール和歌山で食品関係産業の振興を推進するとともに、食品流通の核として重要な役割を持つ卸売市場の整備・強化を支援します。

(主な取組)

○経済団体、金融機関、行政機関等と連携した取組

- ・和歌山県中小企業団体中央会
- ・和歌山県商工会議所連合会
- ・和歌山県商工会連合会（食品関連情報の共有）
- ・（公財）わかやま産業振興財団
（産品商談会in和歌山 及び in大阪）
- ・（株）日本政策金融公庫（産品商談会in大阪）
- ・（株）紀陽銀行（地方銀行フードセレクション）
- ・損保3社（※）との包括連携協定（企業内物産展）
※三井住友海上火災保険(株)、東京海上日動火災保険(株)、損害保険ジャパン日本興亜(株)
- ・日本郵政（株）との包括連携協定
- ・よい仕事おこしフェア実行委員会との包括連携協定
- ・（独）日本貿易振興機構（県産物の輸出）
- ・関西広域連合（各種セミナー、Web商談会）等



関西広域連合
Web型マッチング商談会



近畿農政局との意見交換会

○和歌山県食品産業協議会と連携した取組

- ・「和歌山の食品」に関する情報発信
- ・食品関連の研修、セミナーの開催 等

○食品流通懇談会の開催

- ・県内の卸売業者、仲卸、買参人、生産者、消費者や専門家等がそれぞれの見地から、本県の実情に応じた食品流通について議論する懇談会を開催（7月予定）

○和歌山市中央卸売市場の再編整備

- ・実需者ニーズに合わせたコールドチェーン対応の閉鎖型市場施設の整備
- ・実施年度：平成30年度～令和7年度
- ・実施概要：青果棟、水産棟、総合食品センター等の整備



水産棟オープン記念式典

'21 実績

○経済団体、金融機関、行政機関等と連携した取組

- ・（公財）わかやま産業振興財団：産品商談会in和歌山<16ページ参照>
- ・関西広域連合：Web型マッチング商談会（2021.11.9）
食品輸出セミナー（2022.1.27）
- ・日本郵便：郵便局カタログ「食で旅するおいしい和歌山」（近畿）<3ページ参照>
- ・よい仕事おこしフェア：羽田イノベーションシティイベント（2021.11.5～11.7）

○和歌山食品産業協議会と連携した取組

- ・会員への食品関連情報の案内（年間71件）
- ・紀の国わかやま文化祭2021「わかやま食と芸術の祭典」出展（2021.11.13～11.14）
- ・近畿農政局との農水産物・加工食品の輸出等に係る意見交換会（2022.1.18）

○和歌山市中央卸売市場の一部完成

- ・水産棟（5,700㎡）、倉庫施設（100㎡）等

食品流通課ホームページでは各種事業内容の紹介を行っています。

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/071700/index.html>



様々な情報をメールで配信しています。（登録無料）

1. 県内事業者向け

- 「募集・ご案内メールマガジン」（毎週1回配信）
首都圏や海外展示会、販売催事及び国内外バイヤーとの商談会に係る事業者募集、各種セミナー開催等のお知らせ
- 「食流通信」（毎月1回配信）
事業の開催案内や結果報告等様々な情報をお知らせ



メールマガジンの登録

2. バイヤー向け

- 「旬のTasty healthy wakayama」（毎月1回配信）
県内事業者の商品情報や食品流通課の取組情報など旬の情報を配信

【本庁問合せ先】

和歌山県農林水産部食品流通課

〒640-8585 和歌山市小松原通1-1

TEL：073-441-2815

FAX：073-432-4161

e-mail: e0717001@pref.wakayama.lg.jp

【出先機関問合せ先】

海草振興局農業水産振興課 〒640-8585 和歌山市小松原通1-1 TEL：073-441-3382

那賀振興局農業水産振興課 〒649-6223 岩出市高塚209 TEL：0736-61-0025

伊都振興局農業水産振興課 〒648-8541 橋本市市脇4-5-8 TEL：0736-33-4930

有田振興局農業水産振興課 〒643-0004 湯浅町湯浅2355-1 TEL：0737-64-1273

日高振興局農業水産振興課 〒644-0011 御坊市湯川町財部651 TEL：0738-24-2926

西牟婁振興局農業水産振興課 〒646-8580 田辺市朝日ヶ丘23-1 TEL：0739-22-1443

東牟婁振興局農業水産振興課 〒647-8551 新宮市緑ヶ丘2-4-8 TEL：0735-29-2011

※このアクションプログラムに記載している内容の一部には、様々な方面との協議を要し、適宜変更を行う場合がありますので、あらかじめ御了承ください。

